

代数群上の保型形式とL関数

著者	菅野 孝史
雑誌名	平成10(1998)年度 科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究成果報告書
巻	1997-1998
ページ	3p.
発行年	1999-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/48806

代数群上の保型形式と L 関数

課題番号 09640040

平成9年度～平成10年度科学研究補助金 基盤研究(C)(2)

研究成果報告書

平成11年3月

研究代表者 菅野孝史
(金沢大学理学部教授)

発行者 寄贈

代数群上の保型形式とL関数

課題番号 09640040

平成9年度～平成10年度科学研究補助金 基盤研究(C)(2)

研究成果報告書

平成9年度, 平成10年度において、上記課題の研究を行った。以下は、その研究成果の報告である。

研究組織

研究代表者	:	菅野 孝史	(金沢大学理学部教授)	
研究分担者	:	早川 貴之	(金沢大学理学部助手)	
研究分担者	:	伊藤 達郎	(金沢大学理学部教授)	平成9年度
研究分担者	:	岩瀬 順一	(金沢大学理学部助手)	平成9年度
研究分担者	:	藤岡 敦	(金沢大学理学部助手)	平成9年度
研究分担者	:	山田 美枝子	(金沢大学理学部教授)	平成10年度
研究分担者	:	森下 昌紀	(金沢大学理学部助教授)	平成10年度

研究経費

平成 9年度	1, 800千円
平成10年度	1, 300千円
計	3, 100千円

研究発表（研究代表者によるもの）

（ア） 学会誌等

A. Murase and T. Sugano : On standard L -functions attached to automorphic forms on definite orthogonal groups, Nagoya Math. J. 152 (1998), 1 – 40.

（イ） 口頭発表

- (1) Hecke 環と L 関数（2 次 Siegel 保型形式を中心として）；第 5 回整数論サマースクール，於 山中湖「清風荘アネックス」，1997/07.
- (2) ユニタリ群上の保型形式に附随する L 関数について（joint work with A. Murase）；京都大学談話会，1997/12.
- (3) （村瀬篤氏との共同発表）原始的テータ関数について (I) 局所的理論，(II) 大域的理論；日本数学会，於 名城大学，1998/03.
- (4) （村瀬篤氏との共同発表）Primitive theta functions and automorphic forms on unitary groups of degree 3 ；“Expanding the World of Number Theory”，於 東大・数理，1998/06.
- (5) （村瀬篤氏との共同発表）Primitive theta functions and automorphic forms on unitary groups ；第 4 3 回代数学シンポジウム，於 甲府 JA 会館，1998/07.
- (6) Weissauer’s converse theorem ；第 1 回オータムワークショップ，於 白馬「白馬ハイマウントホテル」，1998/09.